

仏説阿彌陀經

舍利弗その仏の国土にはなおし三惡道の名もなし何にいれんや実あらんやこの諸衆の鳥は皆これ阿彌陀仏の法音をして宣流せしめんと欲して變化して作したまえる所なり 舍利弗かの仏の国土には微風吹いて諸もろの宝行樹および宝羅網を動かして微妙の音を出だせり譬えば百千種の樂を同時に俱に作すがごとしこの音を聞く者は皆自然に念仏念法念僧の心を生ず 舍利弗その仏の国土にはかくのごときの功德莊嚴を成就せり 舍利弗汝が意において云何ゆかの仏を何が故ぞ阿彌陀と号したてまつる舍利弗かの仏の光明無量にして十方の國を照らすに障礙する所なしこの故に号して阿彌陀とすまた舍利弗かの仏の壽命およびその人民無量無辺阿僧祇劫なり故に阿彌陀と名づく

為

令和 年 月 日

淨写